

JR西日本・福知山線事故

日勤教育を管理していた、

鉄道本部長(現山崎社長)ら書類送検!

10名、9月にも

新聞によると、兵庫県警は、JR福知山線脱線・転覆事故でJR西日本の山崎正夫社長（元鉄道本部長）ら会社幹部9名、及び事故列車の高見隆二郎運転士など計10名を業務上過失致死傷容疑で書類送検する方針を固めたと報道されています。新型ATSを整備していれば事故は防げたという認識に立っての判断で、十分な安全対策を怠ったことが重視されています。

また、当時の運輸部長も、いわゆる「日勤教育」など乗務員管理を統括していたことが重視されているようです。さらに、山崎社長ら5人は、「刑事処分相当」という重い意見がつけられることとなりました。しかし、山崎社長は、当面は社長として経営にあたる考えを表明していると言われています。

ところで、航空鉄道事故調査委員会の報告でも、直接的な事故原因ではないものの、「日勤教育」が運転士に精神的な動揺を与え、「ブレーキ扱い」が遅れたことが指摘されています。

私たちはこの間、教育なき「日勤教育」の問題を指摘してきました。再発防止の再教育とは名ばかりで、見せしめと責任追求以外の何ものでもないことを訴えてきました。JR東海経営陣も、今回の書類送検を真摯に受け止めるべきです。

しかし、ATS整備などの十分な安全対策を怠った！
書類送検されても辞任せず？

